

Tohode

街歩きマップ

サポートBOOK

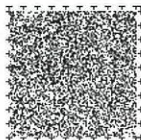
せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。

カメラを持って
散歩しよう!

船橋
地区

素敵な景色と
健康づくりの
魅力が満載!

健康せたがやプラス1



今日からあなたも「こころと身体を HAPPY にするプラス1」生活を始めませんか？

※音声コードがついています。
専用の装置で読み取り、音声で聴くことができます。

マップを片手にゆったりと歩いてみよう!

水分や栄養補給はしっかりと!

※実際のマップはA3サイズです。

《マップの使い方》

街を歩いて、つついシャッターを押したくなる風景に出会う。そんなスポットを巡ることが、自分の健康にとってもプラスにつながる。それがこのマップの目的です。マークはコースの見どころや撮影スポットだけでなく、桜の見どころや富士山ビューポイントも表示。コースを歩きながら、様々な発見を楽しんでください。ショートコース、ミドルコース、ロングコースがあるので、ご自身の体力や訪れたいスポットに合わせて、最適なコースを選んで歩いてみましょう。

※このマップは、地域の方の情報をもとに作りました。坂道や公園の名前には、まちでの通称名もあります。

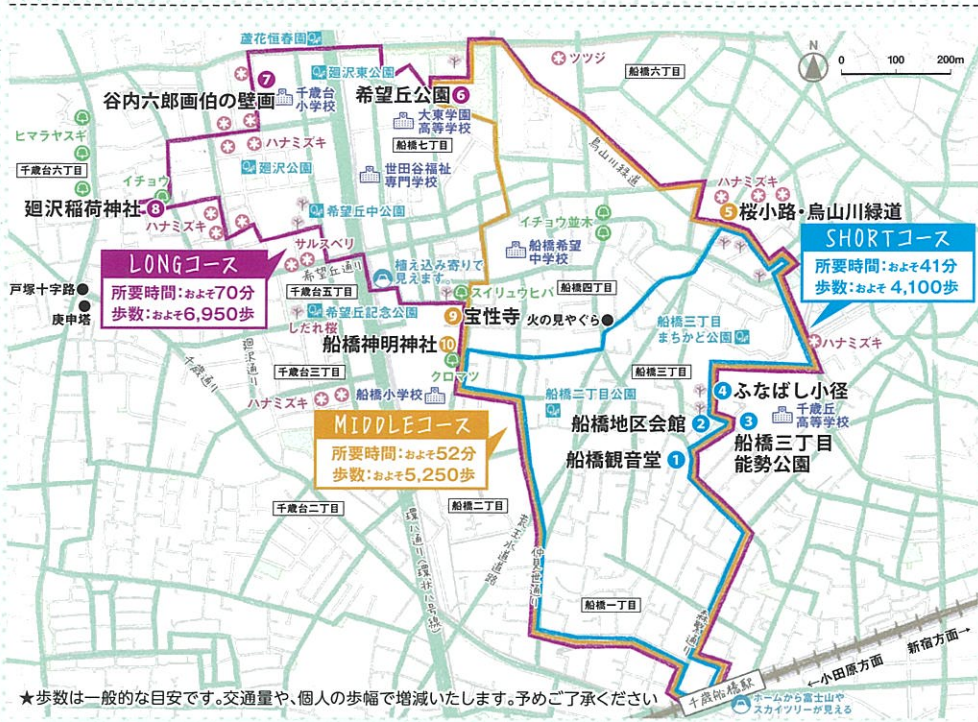
tohode

船橋地区



地区の方々が育んだ自然と出会える喜び

船橋の豊かな野草や花木を巡るコース



船橋の豊かな野草や花木を巡るコース

森繁久彌さんのデヴィエ像に見送られ、桜や昔ながらの土の道など、豊かな花木や野草に包まれた風景の中を穏やかな気分で行くことができます。希望丘公園ではレンガ造りの壁面、千歳台小学校では谷内六郎画伯の壁画にも出会えます。船橋地区の氏神様や、かつての地名を今に伝える神社など、歴史に触れることもできます。

- ① 船橋観音堂
- ② 船橋地区会館
- ③ 船橋三丁目能勢公園
- ④ ふなばし小径
- ⑤ 桜小路・烏山川緑道
- ⑥ 希望丘公園
- ⑦ 谷内六郎画伯の壁画
- ⑧ 廻沢稲荷神社
- ⑨ 宝性寺
- ⑩ 船橋神明神社

さあ Let's Go!!

船橋や千歳台の地名や希望丘の由来

船橋の由来は多数あり、ひとつは住民が船橋(船など水に浮くものを水面に並べてつなぎ、その上に板を渡した浮き橋)を架けたことから付いたと言われています。千歳台は、以前は「廻沢」と言われていましたが、環状八号道路の貫通などによる地域の変更で、昭和46年に誕生しました。希望丘という名称は、この地域の道路、公園等を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用増進を図った希望丘土地区画整理事業に由来しています。



希望丘土地区画整理事業完成記念碑 (希望丘記念公園)

1 船橋観音堂

世田谷城主の吉良成高が15世紀後半に船橋にあった「浄徳庵」を宮坂に移し、常徳院とした代わりに建立したと伝えられています。境内には、以前、植えられていた大きな銀杏の木の切り株のテーブルや椅子があります。※敷地内への立ち入りは禁止。写真を撮影する際は敷地に立ち入らず、車の往来にご注意ください。



ちとふなの柳三世

以前、駅前に植えられ、住民の方に親しまれていた柳の木の子3代目になります。2006年の高架化工事の際に、惜しまれつつも、痛みが激しく伐採された柳の木から、まちの方々のご協力のもと継木がくりかえされ、自然豊かな船橋の風景を未来に伝えるために設置しました。



2 船橋地区会館

弧を描いた曲面の片流れ屋根は立体的で豊かな内部空間を作り出しており、コンクリート打ち放しの壁に青いタイルがポイントで使用されるなど、特徴的な外観になっています。1階にはロビーいっぱい広がる木のテーブルや公園を望む縁側があり、建設から30年経った現在も多くの人に利用されています。





③ 船橋三丁目 能勢公園

お茶の師範であった能勢氏から寄贈され、地域の方々との検討を経て、平成21年4月に開園。庭の木々や植栽、門、井戸、灯籠、大谷石など、当時の能勢邸の面影を伝えています。世田谷区地域風景資産に選定され、地域住民による自主的な管理運営、ピオトーブづくり等が行われています。

※石灯籠のある周辺への立ち入りは禁止。



見どころスポット

森繁通り

飲食店や食料品店など様々なお店が軒を連ねる「ちとふな商店街(千歳船橋商店街振興組合)」。この中のひとつの通りは、国民栄誉賞を受賞した俳優、森繁久彌さんがお近くに住んでいたことから、古くから「森繁通り」という愛称で親しまれていましたが、2010年に世田谷区の道路通称名として決めました。



④ ふなばし小径

水路跡を土の道として整備した遊歩道。昔ながらの土の道には野草が多く、春には桜が舞います。船橋小径の会の方々が、ボランティアで美しい風景を守り育てています。村上春樹著「ねじまき鳥クロニクル」のイメージ舞台としても知られています。



世田谷区地域風景資産とは

地域風景資産は、大切にしたい身近な風景を守り、育て、つくることを目的に、条例に基づき選定されたものです。大切にしたい風景のために活動する人の輪を広げ、区全体の風景を育てていくことを目指しています。この地区では「季節の野草に出会う小径(ふなばし小径)」のほか、「水辺のある能勢公園」が選定されています。



船橋見どころスポット

千歳温水プール

清掃工場の熱を利用した25メートル温水プールは天井が高く、隣接する希望丘公園の緑を見ながら爽やかに泳げます。トレーニングルームや幼児用プール、ジャグジー、健康運動室などがあり、子どもからお年寄りまで楽しめます。



火の見やぐら

火災の早期発見や消防団の招集、町内への警鐘の発信などに使われていた見張台です。元々、この場所には消防署があったことから、火の見やぐらが残されており、現在では住民と地区を守る消防団の活動拠点となっております。



廻沢のガスタンク 100

せたがや百景のひとつである「廻沢のガスタンク」。巨大な球形のガスタンクもいつの間にか、まちの風景の中に溶け込んでいます。朝日を浴び、夕日に照らされ、雨に覆んで、一斉の風情さえ帯びています。都市風景の中で一際目立つランドマーク。入り口付近にはガス灯もあり、古い時代を感じることができます。



環八のバッファゾーン

自動車などの通行により発生する騒音や振動などによる影響を緩和し、周辺環境を保全するために、道路に沿って整備された緑地のことをいいます。環境を守りながら、美しい風景にもつながっています。



ちとふな商店街

千歳船橋駅北口に広がる「ちとふな商店街(千歳船橋商店街振興組合)」。飲食店や専門店などたくさんのお店が軒を連ね、いつも賑わいを見せています。商店街には心がワクワクするものが隠れているので、探しながら歩くのもオススメです。小学生の描いたペナントを街灯に掲揚するイベントも行われます。



船橋・千歳台の公園

希望丘公園のような大きな公園からちょっと休憩できる小さな公園まで、地区内には大小様々な公園があります。公園内にある動物や野菜、植物などの形をした遊具に関連付けて、地元ではパンダ公園やタイヤ公園などと呼んでいます。



5 桜小路・烏山川緑道

烏山川緑道に沿って桜が植えられており、春には桜を見ながら散歩できます。円形広場には桜の花びらが烏山川を流れている様子が、子どもぶんか村の子どもたちが手作りしたタイルで表現されています。烏山川緑道は、烏山川を暗渠化して整備した遊歩道であり、所々、橋の名称が残っているので探しながら歩くのも楽しみのひとつです。



6 希望丘公園 100

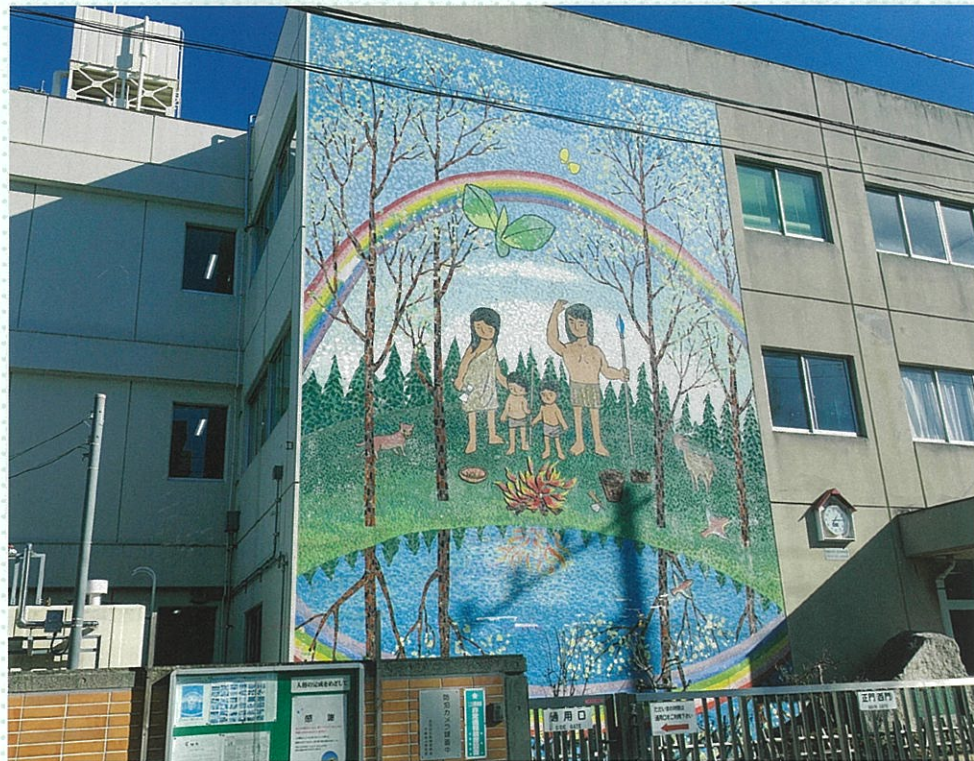
せたがや百景にも選ばれている、昭和52年に開園した洋風づくりの公園。レンガ造りの壁泉や、時計台、アーチ橋、ウォーキングコースなども整備されています。壁泉から水が流れる様子からは、周囲の風景と相まって、清涼感を得ることができます。



7 谷内六郎画伯の壁画 「芽生え」



有名雑誌の表紙のイラストを創刊時から26年間描いた谷内六郎画伯が、この近隣に住んでいたことから開校のお祝いに寄贈した壁画。千歳台小学校を建設する前の調査で発見された千歳台遺跡をモチーフに、水のほとりで古代人の家族が穏やかに暮らしている様子が描かれています。学校の周りには児童が描いた壁絵もあります。



せたがや百景とは 100

昭和59年に世田谷区民が投票で選んだ「残し守りたい風景、景観」百か所です。せたがや百景の場所には看板や切り絵の埋め込みプレートが設置されています。この冊子では「船橋の希望丘公園」の他、「廻沢のガスタンク」を紹介しています。





8 廻沢稲荷神社

千歳台のかつての地名である「廻沢」を今に伝える神社。廻沢は、昔は施沢、巡沢とも書きました。このめぐり沢の名は地形から付けられたものとされています。御祭神は倉稲魂命(うかのみたまのみこと)で、菅原道真を祭る天神社を合祀しています。境内には、イチヨウ、ケヤキ、クロマツなどの大木が見られます。



9 宝性寺

ホオノキと世田谷名木百選に選ばれたスイリョウヒバが出迎えてくれます。玉川八十八ヶ所霊場のひとつであり、創建は不明ですが、その歴史は古く室町時代にさかのぼると考えられております。境内にはトチの大木があり、トチノキ寺とも呼ばれていました。鐘楼や四季折々の風情を楽しむことができます。



10 船橋神明神社

入口に天保十年(1839年)建立の石鳥居があり、主祭神(しゅさいじん)は天照皇大神(あまてらすすめおおかみ)で、早くから船橋地区の氏神様として崇拝されてきました。境内にあるクロマツ群は世田谷名木百選のひとつであり、葉が太く長いことや力強さがあることから別名、男松と呼ばれているそうです。



世田谷名木百選

昭和61年度に学識経験者や区民の方が、100種148本を「世田谷名木百選」として選定しました。大きく成長した樹木、老木の風格が漂う樹木、存在しなくなってしまう樹木など、時代の流れとともに変化を遂げてきました。豊かなみどりは、過去からの贈り物、そして未来へと繋がる貴重な街の財産です。



ムクロジ
(恵泉女学園中・高校)



クロマツ
(船橋神明神社)



スイリョウヒバ
(宝性寺)

塚戸十字路の庚申塔



庚申塔は庚申塚ともいい、中国から伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔のことです。塚戸十字路の庚申塔の周りには方角にあわせて十二支が描かれています。この十二支ですが、日本とベトナムでは「兎と猫」「猪と豚」「羊と山羊」の違いがあることを世田谷福祉専門学校のベトナムからの留学生が教えてくれました。こうした文化の違いも調べてみると面白いですね。

船橋・千歳台には花がいっぱい

まちの方々のご協力のもと植えられている千歳船橋駅前広場の花をはじめ、ふなばし小径の野草や、希望丘公園の藤の花、道沿いに植えられているハナミズキやサルスベリなど、四季折々、船橋・千歳台を彩る花々に出会えます。



藤の花
(4月～5月頃 開花)



ハナミズキ
(4月頃 開花)



ツツジ
(4月～5月頃 開花)



サルスベリ
(7月～10月頃 開花)



駅前広場の花



ふなばし小径の野草



ふなばし小径の野草

船橋・千歳台の桜

桜は何百年もの昔より和歌や物語などで親しまれ、日本人の心の象徴とも言われています。桜小路や宝性寺、希望丘の名が付けられた公園など、3月下旬から4月上旬にかけて見ごろを迎えます。希望丘の名が付けられた公園のしだれ桜はすべて同じ種の桜であり、一斉に開花を迎え、爛漫と咲き誇ります。



ふなばし小径の桜

表紙の背景はどこ？



船橋エリアを歩きながら、ついついシャッターを押したくなる風景に出会えるウォーキングマップ「Tohode(トホデ)」。

船橋地区版の表紙のイラストの風景はどこかわかりますか？

正解はこの冊子でも紹介している「桜小路」です。美しく咲く桜の名所として、地域の住民にも愛されている場所です。

円形広場には桜の花びらが烏山川を流れている様子が、子どもぶんか村の子どもたちが手作りしたタイルで表現されています。



動画について

楽しみながら世田谷区の街を歩けるウォーキングマップ「Tohode(トホデ)」では、動画版「Tohode」も公開し、世田谷区のYouTubeなどで配信しています。

地元の学生と共に、このエリアで出会えるステキな風景を巡っていますので、散歩に出かける前に、ぜひ一度、ご覧ください。散歩の後に見直しても、新しい発見があって楽しいかもしれません。



地元学生と歩きました

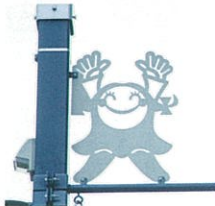
今回のコースは地元と縁のある世田谷福祉専門学校の学生と巡りました。

学生が撮影した写真の一部を紹介します



Tohode[!]

せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。



船橋の街を、ゆっくりと歩くのどかで穏やかな住宅地を抜けると、
そこには、レンが造りの壁泉や時計台のある公園、昔ながらの土の道など
自然に包まれ、思わず深呼吸したくなるような風景に出会える。
テヴィエ像、火の見やぐら、ガスタンク、小学校の壁画など、
日常ではなかなか目にする事ができない、特別な風景に出会えるも喜び。
誰の心にもある、どこか懐かしい風景に出会えますように。